

③④ 切石 (きりいし)

飯田市

【開業】大正15年 【R元 一日平均乗車人員】113人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/7969.html>



飯田線の駅の中で、最も急なカーブに設置されている駅です。

ホームと電車の間が広くなるため、なるべくホームの両端から乗降するように注意書きがあります。

駅北側には、天竜川の支流・松川を渡る鉄橋があります。



③⑤ 飯田 (いいだ)

飯田市

【開業】大正12年 【R元 一日平均乗車人員】827人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/8230.html>



飯田線の路線名になっている中核駅で、飯田市の中心駅でもあります。

また、特急「ワイドビュー伊那路」の発着駅です。

飯田市の特産「りんご」をモチーフとした赤い駅舎が特徴的です。

駅の正面から、飯田市街地を貫く中央通りが延びています。



駅舎内には、駅観光案内所があります。

駅前には、飯田市出身で、飯田線開通に大きな貢献をした伊原五郎兵衛氏の功績を称える頌徳碑があります。

③⑥ 桜町 (さくらまち)

飯田市

【開業】大正12年 【R元 一日平均乗車人員】95人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/8803.html>



駅名のとおり、ホーム裏に桜の木があり、その他にも駅周辺に花が植えられていて、利用者の目を楽しませてくれる駅です。駅舎入口には、桜の花びらをかたどった駅名の看板があります。



並木通りは、昭和22年の飯田大火の後、防火帯道路として整備されました。その後、桜やりんごの木が植えられ、今年では一年を通して各種お祭りやイベントが行われるなど、飯田市のシンボリックな通りとして親しまれています。

駅から西へ数分歩くと「外縣大宮諏訪神社」や「並木通り」があります。



外縣大宮諏訪神社

桜満開の並木通り